

令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	ながお あすか	
氏名	長尾 飛鳥	
所属・役職	下呂市役所 まちづくり推進部デジタル課 主査 最高デジタル責任者（CDO）補佐官	
活動拠点	全国どこでも伺います	
略歴	2008年 下呂市役所入庁 健康課（特定健診担当） 2010年 医療対策課（救急医療） 2012年 水道料金課（料金全般） 2014年 市民課（給付→窓口→マイナンバーカード） 2018年 生活課（CATV） 2020年 企画課情報管理室（CATV→情シス） 2022年 デジタル課（DX） 2024年 デジタル課 CDO 補佐官	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>◆自治体 DX の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DX 推進体制の構築 組織体制の整備／デジタル人材の確保、育成 ・ マイナンバーカードの普及促進、利用の推進 プッシュ型行政サービス／公的個人認証の活用／行政手続のオンライン、デジタル化 ・ 自治体の AI、RPA の利用推進 生成 AI の活用／RPA を導入する際の検討の進め方 ・ その他 デジタル田園都市国家構想の実現に向けた実証実験／ノーコード活用／市民等との対話による共創 	
専門分野	AI 活用 生成 AI 活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 行政手続オンライン化 デジタルデバイド対策 マイナンバー デジタルアーカイブ／図書館 働き方子育て RPA 導入 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） ICT 活用広報	
自治体向けメッセージ	デジタル人材不足や既存業務の負担に悩む自治体職員も多いと思います。これまで DX 担当者として、現場職員と共に課題に向き合い、DX 推進の「ジブンゴト」化を進めてきました。せっかくなので、DX 担当者も楽しみながら、デジタル・AI を前提とした次世代型の	

		行政サービスを一緒にデザインしませんか？まずはお気軽にデジタル改革共創プラットフォームかメール (asuka-n@city.gero.lg.jp) にてお問い合わせください
関連サイト		<p>◆インタビュー記事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民通知をデジタル化で業務効率化を実現 https://blog.xid.inc/n/nccf8dcd57f2d ・行かず書かない役所へ、デジタル通知推進 https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0CD313050R30C23A7000000/ ・RPA ツールの導入事例 https://www.ezavater.com/case/10/
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>◆2023 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを活用して「処分通知等のデジタル化」 https://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20230529/3000029351.html <p>【講演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処分通知等のデジタル化に向けた取り組み@東京ビックサイト ・自治体の DX 戦略@インテックス大阪 <p>【オンラインセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル田園都市国家構想交付金シリーズ（ジチタイワークス） ・マイナンバーカードを活用したデジタル通知 <p>◆2024 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務省広報誌 1 月号掲載 マイナンバーカードを活用したデジタル通知サービス ・ノーコード宣言シティーの宣言 <p>【パネルディスカッション】</p> <p>スマートシティイベント@沖縄県名護市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進地の取り組みから学ぶ「スマートシティの広がり可能性」 ・名護はこれからどう変わる！？「スマートシティ名護モデルのこれから」 <p>【事例発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「行政デジタル改革共創会議」共創プラットフォームの活用@東京都大田区 ・総務省「企画小委員会」自治体 DX の取組状況
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	